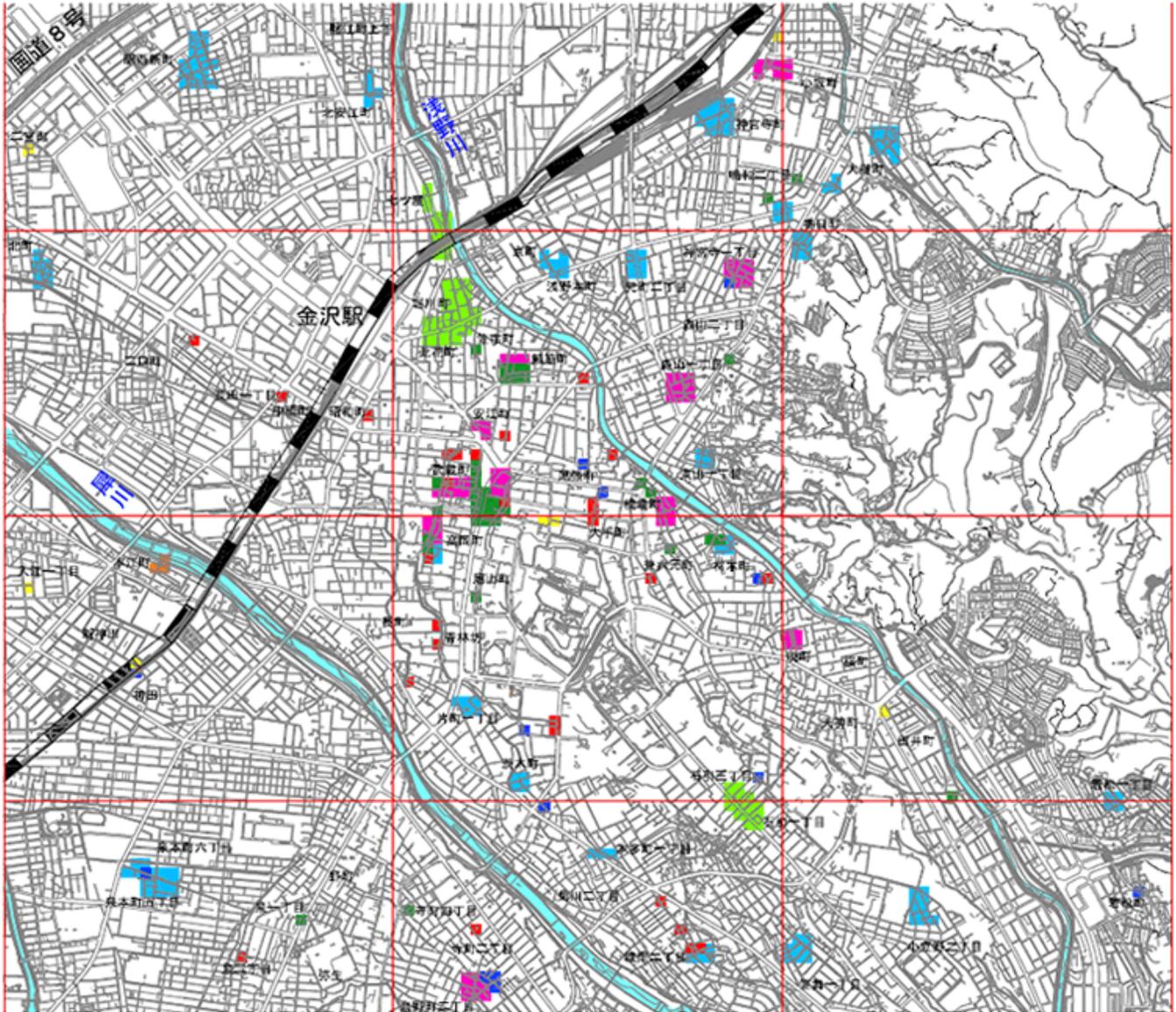


浅野雨水ポンプ場(旧名称:浅野第3ポンプ場)概要

浅野雨水ポンプ場は、金沢駅東地区の洪水対策のために建設されました。雨水管(φ4600mm)の建設から着手し、ポンプ場建屋工事、ポンプ設備工事を経て平成18年6月より稼働し、梅雨時・台風時などの大雨の災害に備えます。

金沢駅東地区洪水被害実績図(金沢市ホームページより)



ポンプ場は地上4階、地下4階の鉄筋コンクリート造りで、金沢市浅野本町の城北水質管理センターの一角にあります。

排水ポンプは1350mm×1400kwのポンプを4台設置し、最大毎分13.4m³(13,400ℓ 家庭用浴槽67杯分)を浅野川へ放流します。

雨水管は、地下30mの所に直径4.6mの管を浅野本町の城北水質管理センターより三社町の中央郵便局前まで約1800m建設し、周辺の雨水を集めます。

また、大雨災害時には停電も予想されます。その時にポンプが止まってしまえば災害対策にはなりません。そのため排水ポンプがフル稼働できる自家発電装置を備え、停電になってもポンプ場機能が損なわれないようになっています。

浅野雨水ポンプ場 外観



浅野雨水ポンプ場 外観



排水ポンプ
1350mm×1400kw×4台





排水ポンプ
1350mm×1400kw×4台



自家発電装置
2台



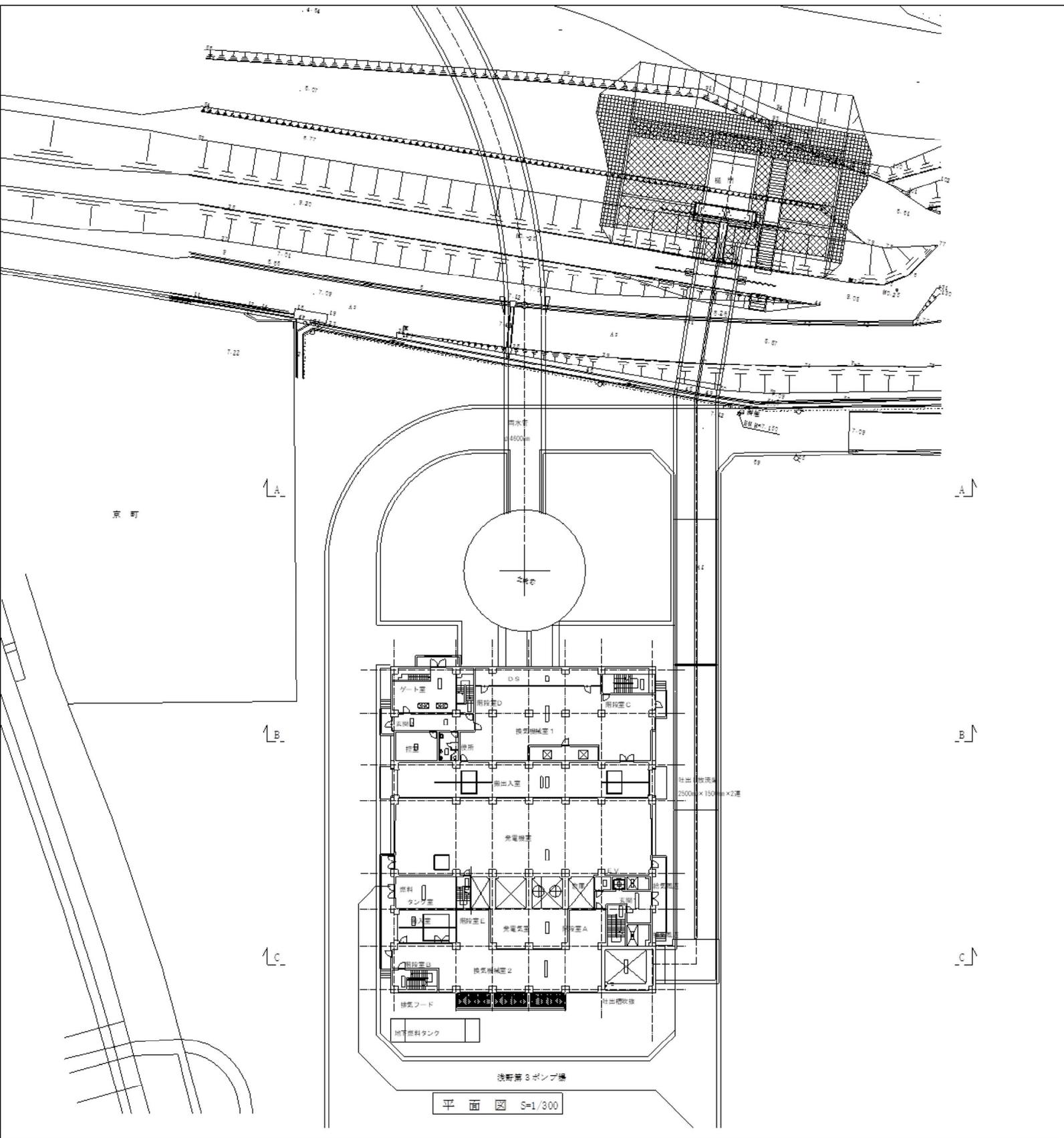
自家発電装置
2台



放流渠、樋門



放流渠、樋門



京町

読野第3ポンプ場

平面図 S=1/300

